

YMCANews



国際協力募金のお願い インド・ランチYMCA支援

京都とランチ、ブラザーYMCA としてのつながり

新型コロナウイルスは、私たちの、そして、世界各地の人々の生活を大きく変えました。困難にある人々が、より困難な状況になっています。

京都YMCAとブラザー関係にあるインド・ランチYMCAは、長年にわたり、会員・スタッフ間の交流をおこなっています。今年7月と9月にはオンラインミーティングで、互いの状況の情報交換を行いました。

多様な民族が住むランチ。貧困層の子ども・ユースのために、教育支援を行っています。

ランチYMCAは、インド東北部の様々な先住民族が住む集落と中流階級層の街が入り組んだ地域にあり、貧困層を対象とした保育園・小学校・職業訓練学校を運営しています。

保育園・小学校では、子どもたちに教材と給食と制服を無料で提供しています。職業訓練学校では、タイピング・刺繍・コンピューター・英語速記・ヒンディー語速記などの教

育を行い、若者の将来の選択の幅が広がるようにしています。



教材や消毒液等の日用品が入った”Edu-Care packet”。ランチYMCAのコミュニティーセンターで配布されています。

コロナ禍で生活支援に奔走。通常事業への影響も。

昨年からインドでも新型コロナウイルス感染症の影響は深刻で、長期にわたるロックダウンにより、日々の生活が、子どもたちの教育の機会が、おびやかされています。学校などの教育機関やエッセンシャルワーク以外は休業となり、国民は自宅または滞在先に留まるよう要請がなされました。

ランチYMCAは、ロックダウンの中で支援が必要な貧困層への食品の配布、就学前の子どもたちへの教材の配布やYouTubeによる教

育動画の配信、地域住民へのマスク配布、石鹸の提供や手洗い啓発など、日々の生活支援に追われています。そのため、通常の事業が行えない状況が続いています。

京都YMCAとともに、ランチYMCAを支援しましょう。

みなさまからお預かりする国際協力募金の一部は、ランチYMCAの支援にも用いられ、新型コロナウイルスによって、貧困層がより困難な状況になっているコミュニティーを支援することになります。

京都YMCAは、地球的な視点から、いのちあるすべてのものが、共に生きる平和な世界を築く運動を展開しています。募金のご協力をよろしくお願いいたします。



ポジティブネット YMCA国際協力募金



一人ひとりがchange Agent

子どもが、未来を創る。

子どもたちが、夢や希望をもち、生きる楽しさや喜びを感じられるように。どこに暮らしていても、安心して学び、遊べるように。私たちが、誰かの犠牲の上に生きることがないように。分かち合い、助け合い、平和な社会を築いていくように。

YMCAは世界規模のネットワークを生かして、貧困層への教育支援、戦争や紛争、災害によって命の危険に晒されている人々への教育・就業支援等、平和な暮らしの実現に向けて取り組んでいます。

募金へのご協力をお願いします

■ 京都YMCAの窓口へ

■ 郵便振替でお振込み

01050-7-19132 京都YMCA奉仕活動基金

通信欄に「国際協力募金」とお書きください。

共に生きる

浅野 献一さん
日本キリスト教団 室町教会 牧師

終わりの見えないコロナ禍。
自粛続きで友人に会えず、自分は世間から忘れられてしまっ
たのではないかと不安な気持ちになることもあるでしょう。
今回は、今だからこそできる、自分との向き合い方、人との
こころの通わせ方を学びます。

ルカによる福音書 17章 20-21節 (新共同訳)

「神の国は、見える形では来ない。『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。」

ソーシャル（フィジカル）ディスタンスが求められ、私たちは否応なく「距離を置くこと」を身につけさせられました。それが身体の距離であって”心の距離を置くことではない”ことを知っていますが、それでも互いの心離れを心配しながら歩んでいます。

むしろ主イエスは、「愛の支配（神の国）はあなたがたの「あいだ（間）」にある」と言い切りました。「密」は時に威圧的ですし、詰まっている状態では、何も通わせ合うことが出来ません。むしろ互いに注ぎあい・響きあうことの可能な「あいだ・余白」の大切さが示唆されています。

それは、日常から身を離すことで、かえってすべて感性が活性化され、豊かにされるキャンプにて。またあえて休息する「創造的休暇」（小原克博「パンデミックとキリスト教」『福音と世界』2020年11月号）で味わわれたのではないのでしょうか。

恩師、竹中正夫先生から愛の所作をご教授いただいたことがあります。「怖じた手を差し伸べるように」。柔らかな距離を慮る「すき間」にこそ、愛といのちは育まれるとの教え。むしろ今この時に、愛こめる「あいだ」をつくりだす機会が与えられているのかもしれない。

第10代京都YMCA総主事 酒井善弘氏 逝去

9月3日（金）17時45分頃 京都YMCAの第10代の総主事としてリーダーシップを発揮された酒井善弘氏が肺がんのため天に召されました。

故酒井善弘氏は、1993年から2003年までの10年間、京都YMCAの財政危機の時期に総主事として改革に手腕を発揮され、そのおおらかな性格から多くの会員やスタッフから慕われました。

葬儀は、緊急事態宣言下でもあり、ご家族だけのお見送りとなりました。

後日、奥様とご息が京都YMCAを訪問され、「皆様から棺に入りきれないほどの多くのお花やたくさんのお悔み電報をいただきました。おひとりお一人にお返しすることはできませんので、感謝の気持ちで京都YMCAに寄付をさせていただきます。」ということで寄付金をお持ちいただきました。故人の御霊の天国での平安を祈ります。



総主事時代の酒井善弘氏

2021-2022 ウィンター＆スプリングプログラム

冬休み・春休みはYMCAで、こころもからだも元気いっぱい、楽しく過ごそう！
スキーキャンプをはじめ、各種プログラムをご用意しております。



Web申込受付

2021年度YMCA会員・会友

10月12日（火）10時～

その他の方

10月19日（火）10時～



子ども支援基金について

経済的事由により活動に参加できない子どもたちのための支援制度です。参加費の半額もしくは一部を援助し、子育てをサポートします。



お問い合わせ先

ウエルネスセンター075-255-4709 campmoushikomi@kyotoymca.org

第11回AIDS文化フォーラムin京都

コロナ流行後を見据えたHIVとの関わり方を専門家とともに学びます。10月10日（日）13時～YouTubeにてライブ配信。アーカイブも公開予定です。予約不要。どなたでもご覧いただけます。



お問い合わせ先

AIDS文化フォーラムin京都運営委員会 information@hiv-kyoto.com

リトリートセンターオータムフェスタ

11月14日（日）11時～14時リトリートセンターにて開催予定。爽やかな秋の好日に、ご家族で豊かな自然を楽しみながら、リフレッシュ。広い敷地内に、各種飲食の露店が開きます。検温と手指消毒、屋内換気及び食事時以外のマスク着用、アルコール禁止等、感染対策を徹底します。

お問い合わせ先

ウエルネスセンター075-255-4709 wellness@kyotoymca.org

SNSで最新情報をお届け！

京都YMCAでは、SNSにて最新情報やプログラムの活動の様子を随時配信しております。是非チェック＆フォローをお願いします。



メール配信サービスのススメ

YMCANews（京都版）は、京都YMCAのメール配信サービスにも掲載しております。メール配信での購読をご希望の方は、QRコードからアクセスの上、ご登録ください。

